

●この書目は、各都道府県の読書協から寄せられた推薦を基にして選定したものです。本を選ぶ手がかりにしてください



上橋菜穂子

### 鹿の王 (上) ——生き残った者—— (下) ——選って行く者——

命をつなげ。愛しい人を守れ。未曾有の危機に立ち向かう父と子の物語が、いまはじまる——。2014年国際アンデルセン賞受賞第一作。世界中が待ち望んだ最新小説！

ISBN978-4-04-101888-0(上) 978-4-04-101889-7(下)  
各1,728円 角川書店



よしもとばなな

### 花のベッドでひるねして

神聖な丘に守られた小さな村。みなしごの主人公が手にした“幸せの魔法”とは？ この美しい世界、生きる喜びと希望を描き切った最高傑作！

ISBN978-4-620-10799-8  
1,296円 毎日新聞社



辻村深月

### ハケンアニメ！

ふたつの番組を巡り、だれかの熱意が、各人の思惑が、次から次へと謎を呼び新たな事件を起こす！ 熱血お仕事小説。ハケンをとるのは、はたしてどっち？

ISBN978-4-8387-2690-5  
1,728円 マガジンハウス



乾 ルカ

### 向かい風で飛べ！

完全アウェーの転校生さつき。スキージャンプの天才美少女・理子との出会いが、孤独で憂鬱な日々を変えていく——わくわく・ハラハラ・うるうる満載の青春小説。

ISBN978-4-12-004576-9  
1,620円 中央公論新社



森 絵都

### クラスメイツ (前期・後期)

24人のクラスメイトたちそれぞれを主人公にした24のストーリー。日本のYA文学をきりひらいてきた森絵都が、直木賞受賞後にはじめて描く中学生群像。

ISBN978-4-03-814410-3(前期) 978-4-03-814420-2(後期)  
各1,404円 偕成社



原田マハ

### 翔ぶ少女

二度と大切なものをなくさないように、あたしは強くなりたい。阪神・淡路大震災で両親を失った兄弟と、親代わりの老医師の姿を通し、絶望の先にある光を描く感動作。

ISBN978-4-591-13727-7  
1,620円 ポプラ社



養老孟司

### 「自分」の壁

「自分探し」なんてムダなこと。「本当の自分」を探すよりも、「本物の自信」を育てたほうがいい。「バカの壁」から11年、最初から最後まで目からウロコの1冊。

ISBN978-4-10-610576-0  
799円 新潮社



阿川佐和子

### 叱られる力

打たれ弱い若者、叱れない上司が増えている世の中に対し、厳格な父に60年間怒られ続きのアガワが、叱る覚悟、叱られる効用を説く。『聞く力』の第2弾。

ISBN978-4-16-660960-4  
864円 文藝春秋

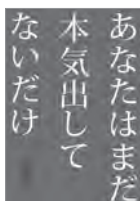


松浦弥太郎

### もし僕がいま25歳なら、こんな50のやりたいことがある。

「もし、いま自分ならこんなことをする」というアプローチで『暮らしの手帖』編集長の松浦さんが、若者のみならず、生き方や仕事に悩む人たちに大きなヒントを与える。

ISBN978-4-06-218692-6  
1,404円 講談社



小玉 歩

### あなたはまだ本気出してないだけ

「自分の人生こんなはずじゃない」と思っている人、必読。本気を出せば、天と地ほどに人生が変わる。仕事、人間関係、自己投資における意識改革を指南。

ISBN978-4-02-251167-6  
1,080円 朝日新聞出版



鎌田 實

### 1%の力

1%はだれかのために生きなさい。個人も社会も幸福にする、小さきけれど、とてつもない力——。かけがえのないすべての人へ贈る、感涙必至のカマタ流生きるヒント！

ISBN978-4-309-02322-9  
1,080円 河出書房新社



姜 尚中

### 心の力

あの『悩む力』と長編小説『心』の著者が、刊行後100年を迎えた夏目漱石の『こころ』に挑む。心の実質をたくする生き方を提唱した、新しいスタイルの物語人生論。

ISBN978-4-08-720722-4  
778円 集英社



岸見一郎 古賀史健

### 嫌われる勇氣

フロイト、ユングと並び「心理学の三大巨頭」と称されるアルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)を、「青年と哲人の対話」という物語形式で紹介。

ISBN978-4-478-02581-9  
1,620円 ダイヤモンド社

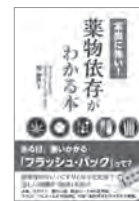


ときどき

### 東大卒プログラマー

東大卒プログラマー「ときどき」初の著作。なぜ彼は最大の武器である論理や効率を捨てたのか。優勝回数世界一の男が語る勝利への執念。

ISBN978-4-569-81962-4  
821円 PHP研究所



西 勝英

### 本当に怖い！薬物依存がわかる本

ある日、襲いかかる「フラッシュ・バック」って？ 依存性がない「くすり」なら大丈夫？ 正しい知識が「依存」を防ぐ。依存性、作用・副作用をわかりやすく解説。

ISBN978-4-89013-445-8  
1,728円 西村書店



池上 彰

### おとなの教養

あなたが、身につけるべき教養とはなにか？「宗教」「宇宙」「人類の旅路」「人間と病氣」「経済学」「歴史」「日本と日本人」。この7科を講義形式で明快に説く。

ISBN978-4-14-088431-7  
842円 NHK出版



角田光代

### ポケットに物語を入れて

〈本をめぐるエッセイ集〉第2弾！ 宮沢賢治、ヘミングウェイ、開高健、池澤夏樹などの古典的な名作から現代作品まで、延べ80冊におよぶ本にまつわるエッセイ。

ISBN978-4-09-388364-1  
1,512円 小学館



ロビン・スローン 島村浩子(訳)

### ペナンブラ氏の24時間書店

奇妙な書店に再就職した青年は、店内にある謎の本の解読に挑んだことがきっかけで、500年越しの謎を解く旅に出る……すべての読書好きに贈る冒険と友情の物語。

ISBN978-4-488-01018-8  
2,052円 東京創元社

●書店で目的の書籍をご注文のときに ISBN の番号を明示すると便利です ●定価は税込価格です



佐々涼子  
紙つなげ！ 彼らが本の紙を造っている

● 2011年3月11日、日本製紙石巻工場は津波に呑みこまれ、完全に機能停止した。震災の絶望から、工場の復興までを徹底取材した傑作ノンフィクション。

ISBN978-4-15-209460-5  
1,620円 早川書房



鎌倉幸子  
走れ！ 移動図書館 本でよりそう復興支援

● 被災者の心の回復のために、「本」を届ける移動図書館プロジェクトが東日本大震災直後に立ち上げられた。ボランティア活動の誕生から現在までを紹介。

ISBN978-4-480-68910-8  
907円 筑摩書房



水柿大地  
21歳男子、過疎の山村に住むことになりました

● 地域おこし協力隊員として村に入った大地は、お年寄りの元気と技に驚く毎日だ。都会から若者たちが入り込み、棚田再生、米作りや炭焼きに取り組む様子を紹介。

ISBN978-4-00-500773-8  
842円 岩波書店



向井愛実  
いのちの花

● 「きつと殺処分をなくしてあげる」犬や猫の骨を土に混ぜ、花を咲かせて命を蘇らせた「いのちの花プロジェクト」。女子高生たちの感動実話、待望の書籍化！

ISBN978-4-87290-695-0  
1,188円 WAVE 出版



小野雅裕  
宇宙を目指して海を渡る

● MIT 流夢の叶え方！ MIT への6年間の留学、日本での就職を経て、30歳でNASAに転職。若き航空宇宙工学者が、世界トップ研究機関の秘密を公開する！

ISBN978-4-492-22342-0  
1,620円 東洋経済新報社



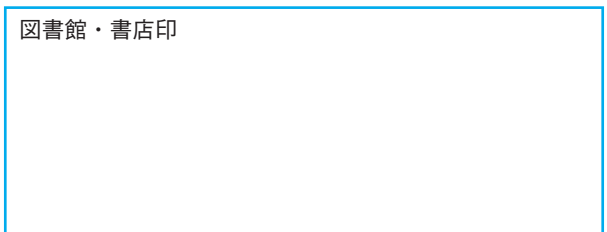
マララ・ユスフザイ クリスティーナ・ラム 金原瑞人(訳) 西田佳子(訳)  
わたしはマララ

● 2014年ノーベル平和賞を受賞したマララさんの手記。「すべての子どもに教育を」と訴え、イスラム武装勢力に銃撃された16歳の少女の闘いの記録。

ISBN978-4-05-405846-0  
1,728円 学研パブリッシング

若いひとたちが本を読まなくなったといわれて、久しくなります。  
若い人たちが本を読まなくなったという  
年上のひとたちの言葉は、  
若いときにこそ本を読むべきであったという、  
後悔の言葉でもあります。  
あなたのみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、  
そうしたものを豊かに持ち合わせている  
〈若いとき〉に読書することは、  
後の生き方に必ずや大きな実りをもたらします。  
あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば、  
思いもかけない幸せな「本との出会い」が  
きっとやってくるにちがいありません。

公益社団法人 読書推進運動協議会（略称＝読進協）は、  
読書の推進によって、わが国の文化の向上に寄与することを  
目的として、昭和34年の「読書週間」を契機に、  
図書館界と出版界の総意のもとに結成されたものです。  
現在、全国40の都道府県に読進協の設立をみて、  
手を携えて読書推進運動を実施しています。  
秋の「読書週間」、春の「こどもの読書週間」を主催し、  
1～3月には「若い人に贈る読書のすすめ」、  
9月には「敬老の日・読書のすすめ」を実施しています。  
また、地域の読書グループ活動を支援するなど、  
多彩な運動を展開しています。



「読書週間」のマーク

成人・卒業—新たな一歩を踏み出した  
フレッシュなあなたに

2015 読書のすすめ

若い人に贈る

公益社団法人  
読書推進運動協議会  
〒162-0828 東京都新宿区袋町6  
(日本出版クラブ会館内)  
電話(03)3260-3071  
FAX(03)5229-1560  
http://www.dokusyo.or.jp